

平成28年度学力向上対策支援事業に係る

第4回学力向上支援教員等協議会

I. 日 時 平成29年 1月27日(金) 13:00~16:30

II. 会 場 大分県庁舎 新館 14階 大会議室

III. 概 要

1: 開会行事

大分県教育委員会挨拶

義務教育課学力向上支援班参事 内海 真理子

- それぞれの立場で、力を発揮していただいている。自身の指導力向上はもちろん、校内で、地域での授業改善に取り組んできた。どのくらいの先生方が分かる授業をしているか、十分でないならどのような取組の改善が必要か、それらを考えながら協議会に臨んでもらいたい。
- 次期学習指導要領改訂を見据え新大分スタンダードを示した。4つの観点は型ではなく、すべての授業の基本である。この観点は授業づくりに欠かせない。観点への意識は高まっている。質の向上にはみなさんの力が必要。
- 問題解決型授業には取り組まれているが、思考力の育成が図られていない授業、課題は設定されているが教師が主導する授業が散見する。めあてと振り返り、課題とまとめの対応は進んできた。しかし、言語活動や課題の設定等に課題がある。
- 見せかけの授業改善でなく、付けたい力を明確にし、それにふさわしい言語活動や学習展開を見極め、具対的な評価規準を設定し、すべての子どもをおおむね満足できるようにすること。そのような授業を新大分スタンダードで行うことを確認し、今後の授業改善を進めていって欲しい。
- 今日は岐阜市への先進地研修の報告。その後グループでの情報交換を通して次年度のステップアップのヒントを持ち帰って欲しい。

2: 報 告

「学力向上先進地研修」

(小学校) 臼杵市立市浜小学校 板井 悟 氏

①岐阜市立長良小学校の概要

- 研究主題「自ら学ぶ力を身につけていく子を目指して」で3年間一貫した研究
- 小中一貫校として「長良川学園」
 - ・取組・「長良ふれあい集会」での交流活動・研究授業の相互参観・合同教科部会

②全校集会の様子から

- 楽しさいっぱい「動物村なかよし集会」
 - ・子どもによる主体的な集会運営
 - ・姿勢良く話を聞く姿
 - ・挙手をして、意思表示をする姿
 - ・コッコ村長(教職員)が子どもたちの姿を評価し全体へ広げる

③学校・教室環境の様子から

- 子どもがほめられ、認められる環境
 - ・廊下の掲示物 児童会「思いやり宣言」
 - ・整理整頓された靴箱、ロッカー
 - ・学習環境の充実 廊下側に窓のない教室 算数コーナー
 - ・学校統一の教室環境
 - ・年間の歩み 成長の記録の背面掲示
 - ・教科を中心とした係活動
 - ・各班でのめあての設定

④算数科の授業の様子から

- 第5学年算数「ならした大きさの求め方を考えよう（平均）」
 - ・キーワードは「合計」「個数」「平均」
 - ・プレートを繰り返し活用
 - ・複数の練習問題
- 第6学年算数「割合の新しい表し方を調べよう」（比）
 - ・キーワードは「線分図」「1とみると」
 - ・自分の考えを説明する児童
 - ・ホワイトボードの活用
- 第1学年算数「ながさくらべと ひろさくらべ」
 - ・類似問題で説明力を伸ばす
 - ・話型「はじめに」「つぎに」「だから」
 - ・子どもの考えを認める教師の姿勢

⑤先進地研修を活かした取組から（市浜小の課題）

- 自分の考えはノートに書けるが、説明する力の不足→表現する力の不足
 - 友だちの話を受けて、自分の考えを見直すことの不足→聞く力の不足
- ↓
- 繰り返し表現することで
 - ・自分の考えの不備を発見できる 話し方の工夫を行う【話す力の向上】
 - ・友だちの考えのよい点や不備に気付く【聞く力の向上】

（中学校）日田市立三隈中学校 梅原 毅 氏

長良西小学校・長良中学校の授業実践から見てきたもの 授業改善を進めるにあたっての観察

- 授業前の様子
 - ・教科委員が授業前に、前時までの学習に関する内容を他の生徒に質問する。
- 授業の課題提示までの様子
 - ・前時に課題と資料を提示、本時は意見発表から。
- 課題に対する生徒の発表の様子
 - ・資料から得られる根拠に基づき文章化している。
 - ・複数の資料を比較・分析している。
 - ・相手と向き合えるように発表の位置を変える。
 - ・サイン（Vサインや三本指など）による挙手をして反応を示す。
- 揺さぶりをかけた後の授業者の姿勢
 - ・揺さぶりに対して、生徒がどう反応してよいか戸惑っていても、教師はじっと見守り待つ。なかなか、待つことができず、ついつい口を挟むことが多い。見習うべき点である。
- まとめは生徒の言葉で簡潔に
 - ・まとめ「コーヒー豆 植民地時代のなごり ヨーロッパへ」「ネリカ米 自分たちの生活のため」
 - ・生徒の書いたまとめ「これまでのコーヒー豆ではなく、ネリカ米でしかアフリカを救うことはできないのです」

（県教委）義務教育指導班指導主事 松村 義広

算数の学習で説明に慣れるような基本形

- 事実を説明する場合の例
 - ・説明する対象を明らかにして、方針を明確にする
 - ・取り出した情報を整理し説明する
 - ・答えにつながる計算や説明を過不足なく行う

○方法を説明する場合の例

- ・根拠となる考え方や解決方法を示し、方針を明らかにする
- ・取り出した情報を整理し、計算等を行う
- ・答えにつながる計算や説明をする
- ・答えを導き出す

○理由を説明する場合の例

- ・根拠となる考え方を示し、方針を明確にする
- ・取り出した情報を整理し、計算等を行う
- ・答えにつながる計算や説明をする
- ・答えを導き出す

数学の学習で説明に慣れるような基本形

○事実を説明する場合の例

- ・新たな条件から方針を明確にする
- ・変わる部分と変わらない部分を整理し、計算等を行う
- ・答えにつながる計算や説明をする
- ・答えを導き出す

○方法を説明する場合の例

- ・表、式、グラフ等の中から用いるものを明確にする
- ・用いるものをもとに方針を立て、分析する
- ・用い方を説明する

○理由を説明する場合の例

- ・根拠となる表、式、グラフを選択し、方針を明確にする
- ・取り出した情報を整理し、計算等を行う
- ・答えにつながる計算や説明をする
- ・答えを導き出す

3：情報交換

○市町村教育委員会

「中学校学力向上対策3つの提言」について

○学力向上支援教員

「学力向上支援教員としての役割」

「第3回協議会作成レポートの交流（小学校教諭）」

○習熟度別指導推進教員

「習熟度別指導推進教員としての役割」

「第3回協議会作成レポートの交流（小学校教諭）」

○指導教諭

「学校組織をあげた学力向上の取組」

4：閉会行事

大分県教育委員会挨拶

義務教育課学力向上支援班参事 内海 真理子

- 学習指導要領の改訂に向けて答申が出された。3月には新学習指導要領が示される。単元プラン例を作成している。単元構想力が重視されている。アクティブラーニングの視点は1時間のみではなく単元を通して育成されると考える。いずれの教科でも求められる。
- 第5フェーズの次のプランが提示される。芯の通った学校組織を活用した授業改善、社会に開かれた教育課程について学習指導要領改訂前に準備すべき事は準備しなければならない。そのための情報提供は県教委のホームページに随時、掲載するので是非情報を活用してもらいたい。

【文責：義務教育課（記録：日田教育事務所 小畑）】